

【公報種別】実用新案法第 14 条の 2 の規定による訂正明細書等の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 17 日 (2016.3.17)

【登録番号】実用新案登録第 3165732 号 (U3165732)

【訂正の登録日】平成 28 年 2 月 10 日 (2016.2.10)

【登録公報発行日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【出願番号】実願 2010-7612 (U2010-7612)

【国際特許分類】

B 6 2 B 7/08 (2006.01)

【F I】

B 6 2 B 7/08

【訂正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 22 日 (2015.4.22)

【訂正の目的】実用新案登録請求の範囲の減縮等

【訂正後の請求項の数】9

【訂正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

プッシュロッド (9) を有するベビーカーフレーム (1) と、
前記ベビーカーフレーム (1) に配置されたベビーカーロック機構と、
前記ベビーカーフレーム (1) に配置された座席と、
前記ベビーカーフレーム (1) の前底部に配置された前輪アセンブリ (2) と、
前記ベビーカーフレーム (1) の後底部に配置された後輪アセンブリ (3) とを備える
ベビーカーであって、

前記ベビーカーフレーム (1) は、前記プッシュロッド (9) が前記座席の前に位置する第 1 の開き位置と、前記プッシュロッド (9) が前記座席の後ろに位置する第 2 の開き位置と、前記第 1 の開き位置から折りたたまれて変形する場合の最終位置である第 1 の折りたたみ位置と、前記第 2 の開き位置から折りたたまれて変形する場合の最終位置である第 2 の折りたたみ位置とを有し、

前記ベビーカーフレーム (1) はさらに前記プッシュロッド (9) を固定するプッシュロッドロック機構を備え、

前記ベビーカーフレーム (1) はさらに

前輪ブラケット (4) と、

後輪ブラケット (5) と、

サイドアームレスト (6) と、

上部が前記アームレスト (6) の後部に回転可能に接続された後部接続ロッド (7) と

、
前記後輪ブラケット (5) に設けられ、前記後輪ブラケットの長手方向に沿って摺動可能なスライドスリーブ (10) とを備え、

前記前輪ブラケット (4) の上部、前記後輪ブラケット (5) の上部、及びサイドアームレスト (6) の前部の内の 1 つが、他の 2 つにそれぞれ回転可能に接続されており、

前記後部接続ロッド (7) の下端と前記プッシュロッド (9) の下端が、それぞれスライドスリーブ (10) に回転可能に接続されていることを特徴とするベビーカー。

【請求項 2】

前記プッシュロッドロック機構は、前記プッシュロッド (9) に設けられ、前記プッシュロッド (9) の長手方向に沿って摺動可能な摺動可能ロック部材 (15) と、

前記サイドアームレスト (6) の後部または前記後部接続ロッド (7) の上部に固定された第 1 の位置決め部材 (16) と、

前記スライドスリーブ(10)の上部に固定された第2の位置決め部材(17)とで構成され、

前記摺動可能ロック部材(15)が前記第1の位置決め部材(16)または前記第2の位置決め部材(17)に係合することで前記プッシュロッド(9)が固定され、

前記プッシュロッドロック機構がロック解除位置にある場合、前記摺動可能ロック部材(15)は、前記第1の位置決め部材(16)または前記第2の位置決め部材(17)から外れている請求項1に記載のベビーカー。

【請求項3】

前記摺動可能ロック部材(15)は、摺動可能ロック溝(18)を備え、前記プッシュロッドロック機構が前記プッシュロッド(9)を固定している場合、前記第1の位置決め部材(16)または前記第2の位置決め部材(17)が前記摺動可能ロック溝(18)に挿入され、前記プッシュロッドロック機構が前記プッシュロッド(9)を固定していない場合、前記第1の位置決め部材(16)または前記第2の位置決め部材(17)が前記摺動可能ロック溝(18)から外れている請求項2に記載のベビーカー。

【請求項4】

前記ベビーカーフレーム(1)はさらに前記スライドスリーブ(10)に回転可能に接続された座席ロッドを備え、前記座席ロッドの前部が前記前輪ブラケット(4)に回転可能に接続されている請求項1～3のいずれかに記載のベビーカー。

【請求項5】

前記プッシュロッドロック機構が、前記スライドスリーブ(10)と前記後輪ブラケット(5)の間に設けられた請求項1～3のいずれかに記載のベビーカー。

【請求項6】

前記ベビーカーロック機構は、第1の回転軸(19)上に設けられ、前記第1の回転軸(19)の軸方向に沿って摺動可能であり、それを介して前記プッシュロッド(9)の下端が回転可能に前記スライドスリーブ(10)に接続されているロックピン(11)と、前記後輪ブラケット(5)に設けられたロック穴(12)とで構成され、前記ベビーカーロック機構は、前記ロックピン(11)が前記ロック穴(12)に挿入されたロック位置と、前記ロックピン(11)が前記ロック穴(12)から外れたロック解除位置とを有する請求項1～3のいずれかに記載のベビーカー。

【請求項7】

前記ベビーカーロック機構を前記ロック位置で安定して維持するための第1の弾性部材(13)が、前記第1の回転軸(19)と前記ロックピン(11)の間に配置されている請求項6に記載のベビーカー。

【請求項8】

通路(14)が前記第1の回転軸(19)上にその長手方向に沿って設けられ、前記ロックピン(11)が前記通路(14)内に位置する請求項6に記載のベビーカー。

【請求項9】

前記プッシュロッド(9)は、前記通路(14)と連通した管形チャンバを有する請求項8に記載のベビーカー。